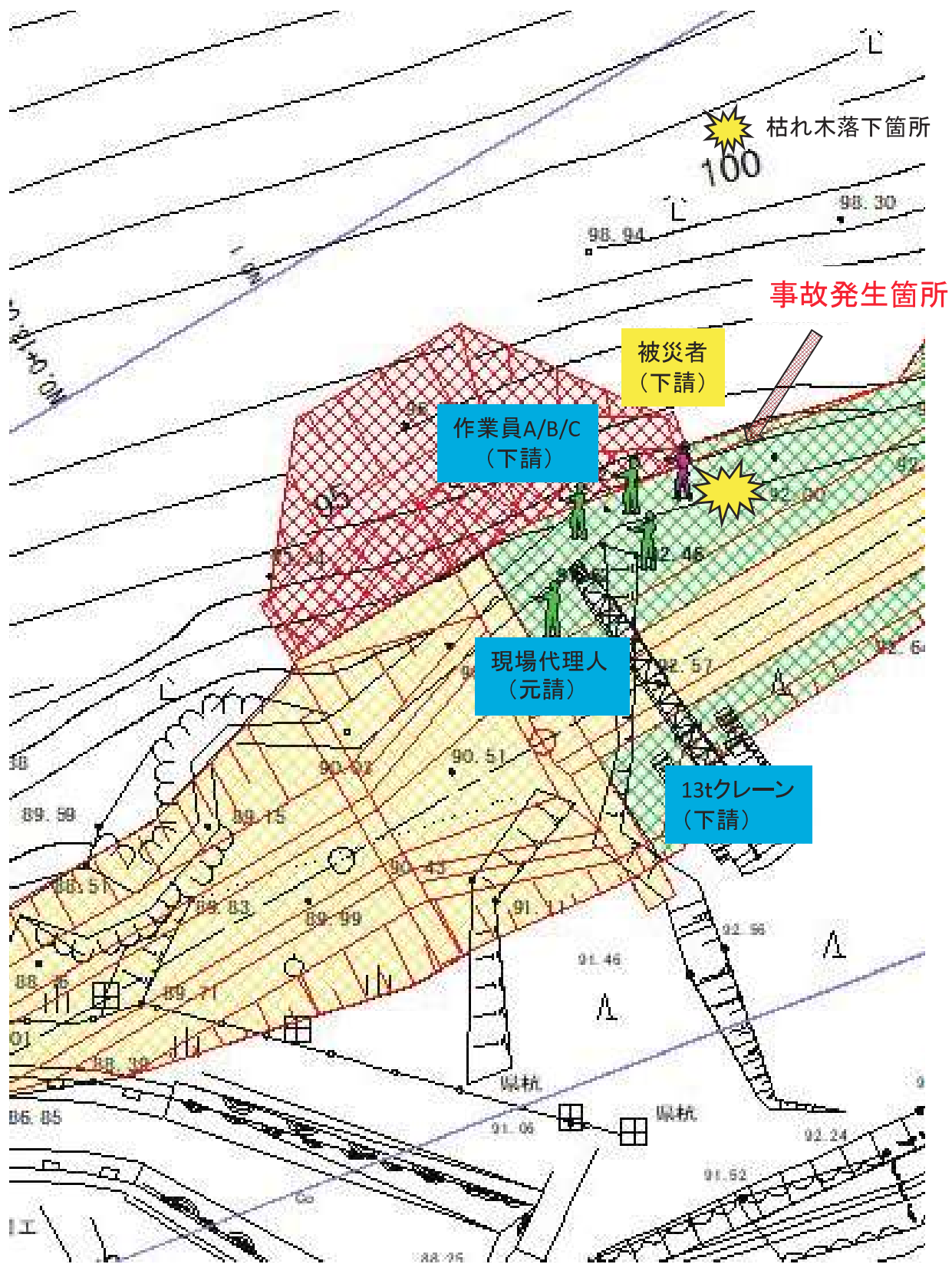


事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

災害の種類	労働災害(作業員)	工事区分	砂防工事
事故内容	枯れ枝の落下による被災	被災者	性別・年齢 性別:男性 年齢:58歳
被災状況	胸椎椎体骨折、右腰椎横突起骨折 右臀部血腫、右前腕打撲	職業	土木作業員
<p>〔災害の概要〕</p> <p>□現場の状況： 砂防工事において、山留ブロック工の裏込コンクリート打設を元請1名、下請5名(計6名)で行っていた。</p> <p>□事故の概要： 令和(4)年(10)月(18)日(火曜日) ブロック積裏込コンクリート打設中、法面上部の民地に生えている木から枯れ枝(長さ2.7mの枯れ枝が法面衝突時に2本(長さ1.5m、1.2m)に折れた)が落下し、長さ1.5mの方が作業員に衝突し負傷した。 付近にいた現場代理人が気づき、直ちに救急手配をとった。</p> <p>□安全対策の有無 新規入場者教育、安全訓練、KY活動実施、作業時ヘルメット装着 現場内の安全点検(作業部のみ、官地外の点検はなし)</p>			
<p>〔再発防止策〕</p> <p>□問題点： ①作業範囲である切土法面の状況は毎朝の安全巡視にて点検していたが、それより上方(民地)からの落石、枝等の落下についてリスクとして想定していなかった。</p> <p>②発注担当部署である●●支所への連絡が遅い。(発災後38分を要した)</p> <p>③●●支所へ連絡した際、担当監督員が打合せ中であったため、一度電話を切ってしまった。</p> <p>④労働基準監督署への連絡を失念した。 (担当監督員からの指示により連絡)</p> <p>□防止対策： ①-1 現場内及び現場周辺の安全総点検を実施する。(実施済)(P.8)</p> <p>①-2 施工計画書(P.9)及び事故対策リスト・ハザードマップ(P.10,11)に法面上方の安全点検を追記する。また、現場内安全巡視点検表(P.12)にも点検項目を追加し、始業時の安全巡視にて法面より上方(民地)からの落石、枝等の落下について点検を行う。</p> <p>①-3 安全巡視時に、落下の恐れのある枯れ枝等が確認された場合は、現場に配備中のクレーンにより直ちに撤去する。</p> <p>①-4 除去しきれなかった想定外の落下物への対策として、作業範囲については、作業位置より高所に高さ1mの防護ネット設置する。(P.13,14)</p> <p>②③④ 緊急時において、現場代理人のみが緊急連絡をするのではなく、現場内の他の作業員についても緊急連絡できるよう教育を行うことにより、緊急時のバックアップ体制を確保する。(P.15,16)</p> <p>②③④ 緊急時の連絡を行う際の連絡順位を決め施工計画書に明示すると共に、現場内に掲示する。(P.15)</p> <p>③ 緊急時に担当監督員と連絡が取れなかった場合、他の支所職員へ緊急事案が発生したことを伝える。また、そのことを施工計画書に明示すると共に、現場内に掲示する。(P.15)</p> <p>②③④ 緊急時の連絡が円滑に行えるよう、社内訓練を毎月実施する安全訓練にて行う。(P.16)</p>			

事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

[事故の状況が分かる写真または図面]



事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

〔事故の状況が分かる写真または図面〕



事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

〔事故の状況が分かる写真または図面〕

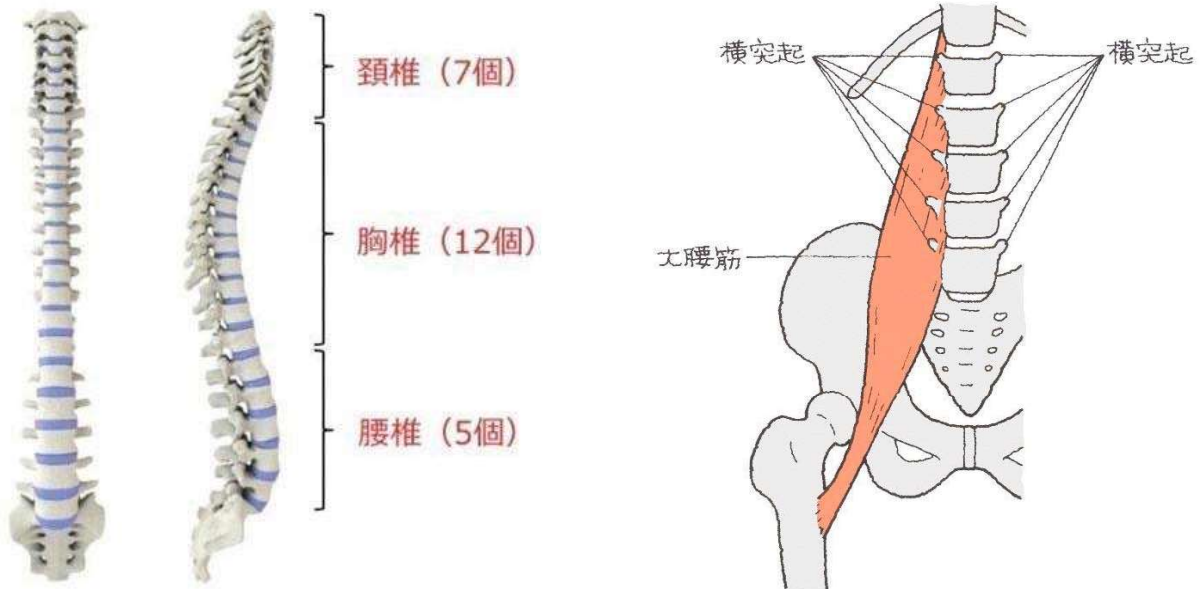


作業員に衝突した
枯れ枝。
(直径10cm)
(長さ1.5m・1.2m)

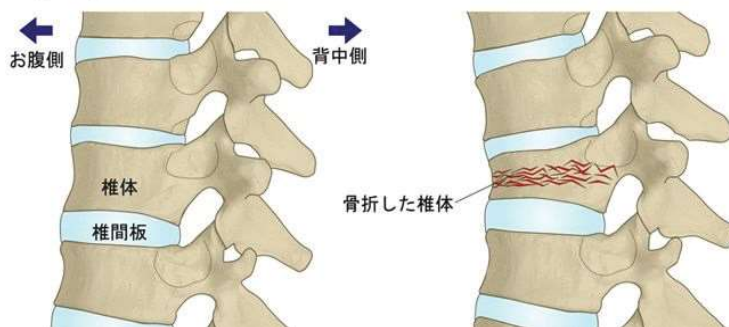


被災者病状

- ・胸椎椎体骨折(きょうついついたいこっせつ)
- ・右腰椎横突起骨折(みぎようつuiおうとつきこっせつ)



■横から見た図



- ・右臀部血腫(みぎでんぶけっしゅ)
右臀部内出血
- ・右前腕打撲(みぎぜんわんだぼく)

●●病院担当医と連絡が取れないため胸椎・腰椎の骨折箇所番号は不明です。
担当医との連絡が取れ次第報告します。

【事故発生後法面上方点検】 令和4年10月18日 15:00～

●事故発生後法面上方の点検を行いました。

- 1 法面上方の木に枯れている枝はないか
現場を確認した所枯れている枝は確認できなかった。
- 2 木の上部に枯れている木、竹、枝が掛かっているか
現場を確認した所No.1付近に枯れている枝が掛かっていた



No. 1付近

- 3 法面に滑り落ちそうな竹、枝はないか
現場を確認した所No. 0+10.0・No. 1・No. 2付近に見られた



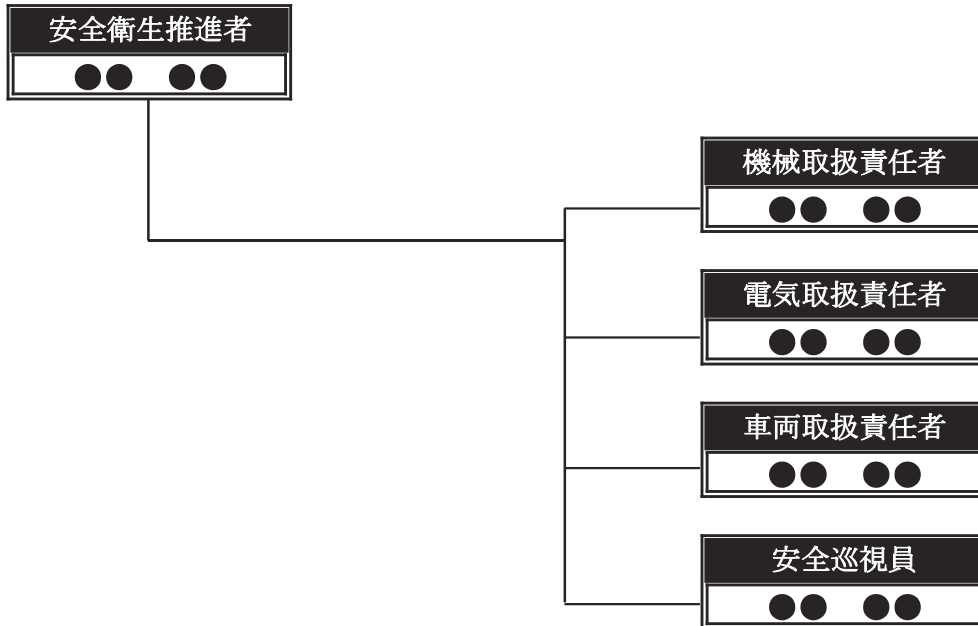
No. 0+10.0～No. 2

点検者： (●●建設株) 災害対策部長●●●●・現場代理人●●●●・対策係●●●●・●●●●
(有●●建設) ●●●●

工事現場内の安全管理については、作業員の労働災害の防止並びに疾病を予防すると共に第三者に対する災害の絶無を図り工事期間中安全巡視を行います。安全対策として下記の組織を構成し又は事故発生時における連絡表を次に定めます。

安全・訓練等の実施については、別紙書式（安全・訓練の実施・報告書）に整理し、提出します。

1) 組織系統



- 2) 安全管理を徹底するため、定期的に安全巡視員がパトロールを実施します。
又、月に1回25日前後に災害防止協議会及び安全教育を月4時間以上実施します。
毎月、●●建設(株)社員と安全協力会会員の担当者と社内パトロールを実施する。
- 3) 工事現場内において、下記の安全目標を設け、安全衛生管理を積極的に推進します。
 - 第三者に対する災害防止 看板・バリケードにより立入禁止対策をする。
 - 作業員の災害防止 重機作業半径内立入禁止、手元・足元に注意する。
 - 重機災害防止 バックホウ・クレーン設置地盤の安定を図り、軟弱な場合は敷鉄板を設置する。
 - 交通ルールの遵守 運搬経路の確認をし危険個所を周知する。
- 4) 火気取締責任者を決め、工事現場内を巡回し、火気防止を図るとともに油脂類及び塗料等の可燃物は火気厳禁の指示を行い、周辺の整理整頓を実施、または作業終了点検確認を行います。
- 5) 配電する動力設備は、管理責任者を決め定期的に点検を実施し、安全を図ります。
- 6) 法面上方より落石、枝等の落下を阻止するため作業位置よりも上部に高さ1mのネットを張り枝、竹が落下してきた場合でも捕捉できるように対策する。
また、毎朝法面上方をチェックシートを用いて安全確認を行う。

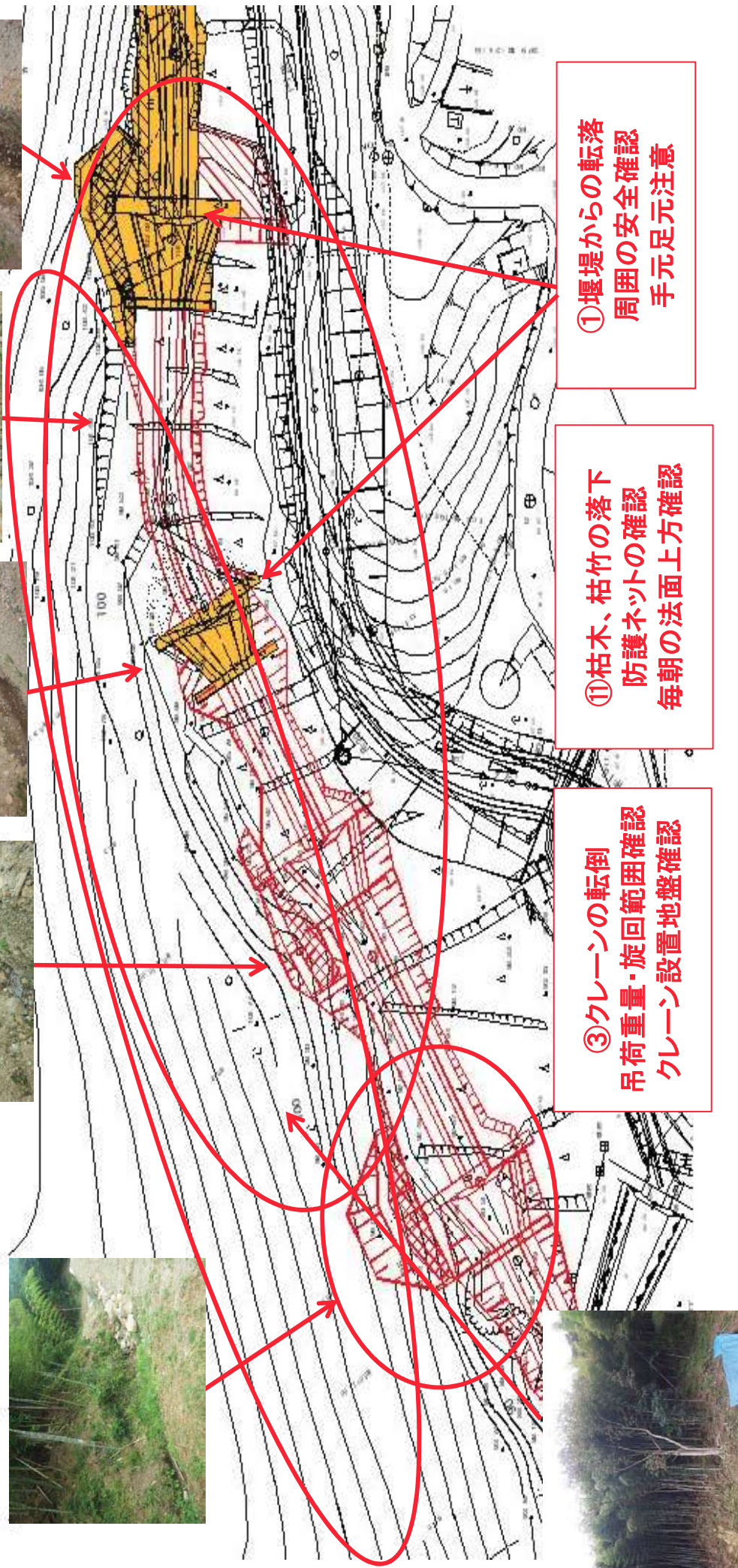
様式 1

予想される事故対策リスト

位置番号	【事故の種別】 予想される事故	左記の安全対策	対策における留意点	確認日
② ③	【挟まれ・巻き込まれ】 土工事作業中の法面での 転倒・転落事故、移動中 の機械との接触による作 業員の転倒や挟まれ事故	<ul style="list-style-type: none"> 稼働させる重機の周囲への立入禁止措置 機械移動範囲の地盤等の安定保持 監視人の配置 	<ul style="list-style-type: none"> 機械と接触するときには、機械が作動しない状態であることの確認を徹底する。 朝礼時に作業員の中で監視人を決め配置する。 	/ 担当 <input type="checkbox"/> 主任 <input type="checkbox"/> 統括 <input type="checkbox"/> 他 <input type="checkbox"/> ()
①	【墜落・転落】 コンクリート打設中に堰堤 からの転落事故	<ul style="list-style-type: none"> 型枠組立完了後、手摺の設置 安全器具の使用 	<ul style="list-style-type: none"> 安全器具・手摺等設置後に安全確認を徹底する。 	/ 担当 <input type="checkbox"/> 主任 <input type="checkbox"/> 統括 <input type="checkbox"/> 他 <input type="checkbox"/> ()
④	【第三者立入】 第三者の誤進入による接 触、転倒事故	<ul style="list-style-type: none"> バリケードと規制看板による立入禁止対策をする 	<ul style="list-style-type: none"> 風による転倒を防ぐため杭やロープを使用し固定する 稼働する場合は、作業終了時に元の状態に戻し確認を行う 	/ 担当 <input type="checkbox"/> 主任 <input type="checkbox"/> 統括 <input type="checkbox"/> 他 <input type="checkbox"/> ()
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	【交通事故】 ダンプトラックと歩行者・自 転車・一般車両との接触 事故	<ul style="list-style-type: none"> 現場から目的地までの経路を確認し、危険個所を周知 	<ul style="list-style-type: none"> 現場から国道に出るまでは道が狭い為徐行する。 渋滞時でも計画した運搬経路を守る 	/ 担当 <input type="checkbox"/> 主任 <input type="checkbox"/> 統括 <input type="checkbox"/> 他 <input type="checkbox"/> ()
③	【クレーン等の転倒】 アウトリガー据付箇所の 不等沈下等によるクレー ン等の転倒事故	<ul style="list-style-type: none"> 軟弱地盤の把握 敷鉄板の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 荷重作用の直前、直後、中間時における敷鉄板の沈下等の確認を行う 	/ 担当 <input type="checkbox"/> 主任 <input type="checkbox"/> 統括 <input type="checkbox"/> 他 <input type="checkbox"/> ()
⑪	【法面上方より落石、枝 等の落下】 現場右岸側の法面上方よ り落石、枝等の落下事故	<ul style="list-style-type: none"> 防護ネットを張る 毎朝の法面上方部の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 防護ネットの外れていないか確認を行う 毎朝の点検を徹底する 	/ 担当 <input type="checkbox"/> 主任 <input type="checkbox"/> 統括 <input type="checkbox"/> 他 <input type="checkbox"/> ()

ハザードマップ(現場内)

②掘削作業で法面からの転落
周囲の安全確認・手元足元注意
重機作業半径内立入禁止



①堰堤からの転落
周囲の安全確認
手元足元注意

①①枯木、枯竹の落下
防護ネットの確認
毎朝の法面上方確認

③クレーンの転倒
吊荷重量・旋回範囲確認
クレーン設置地盤確認



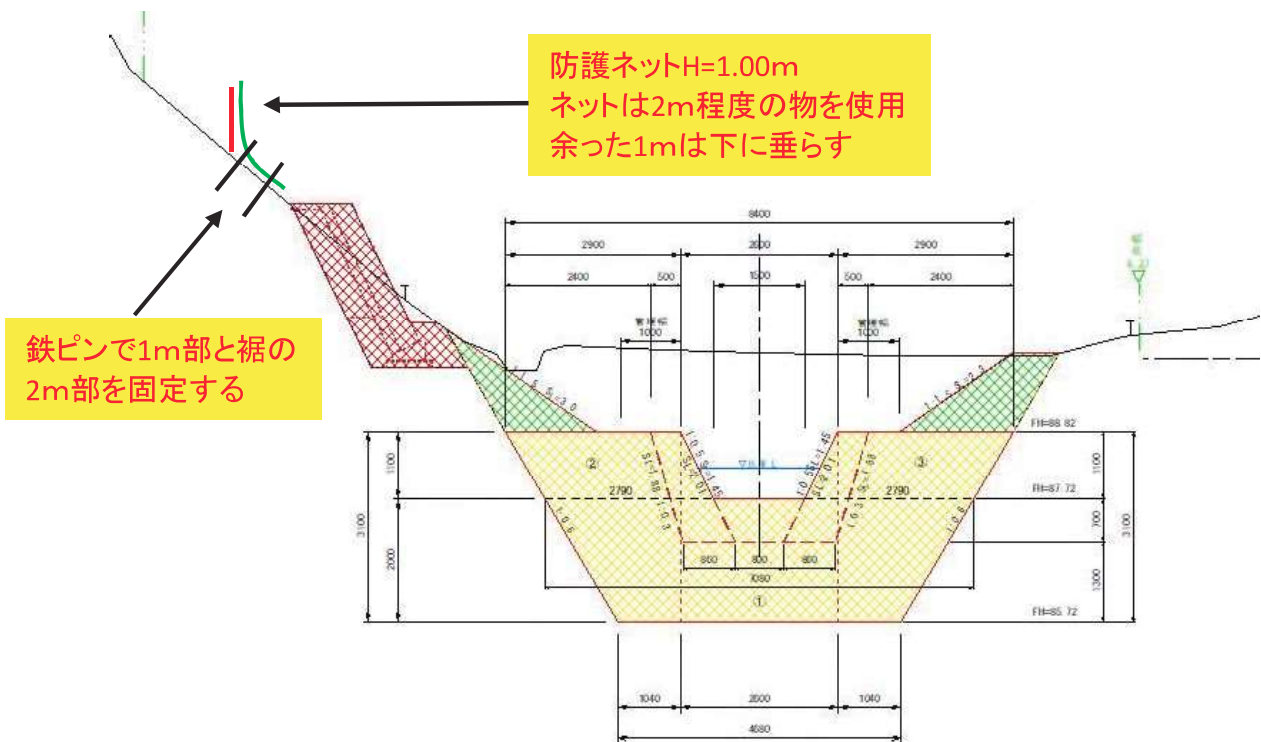
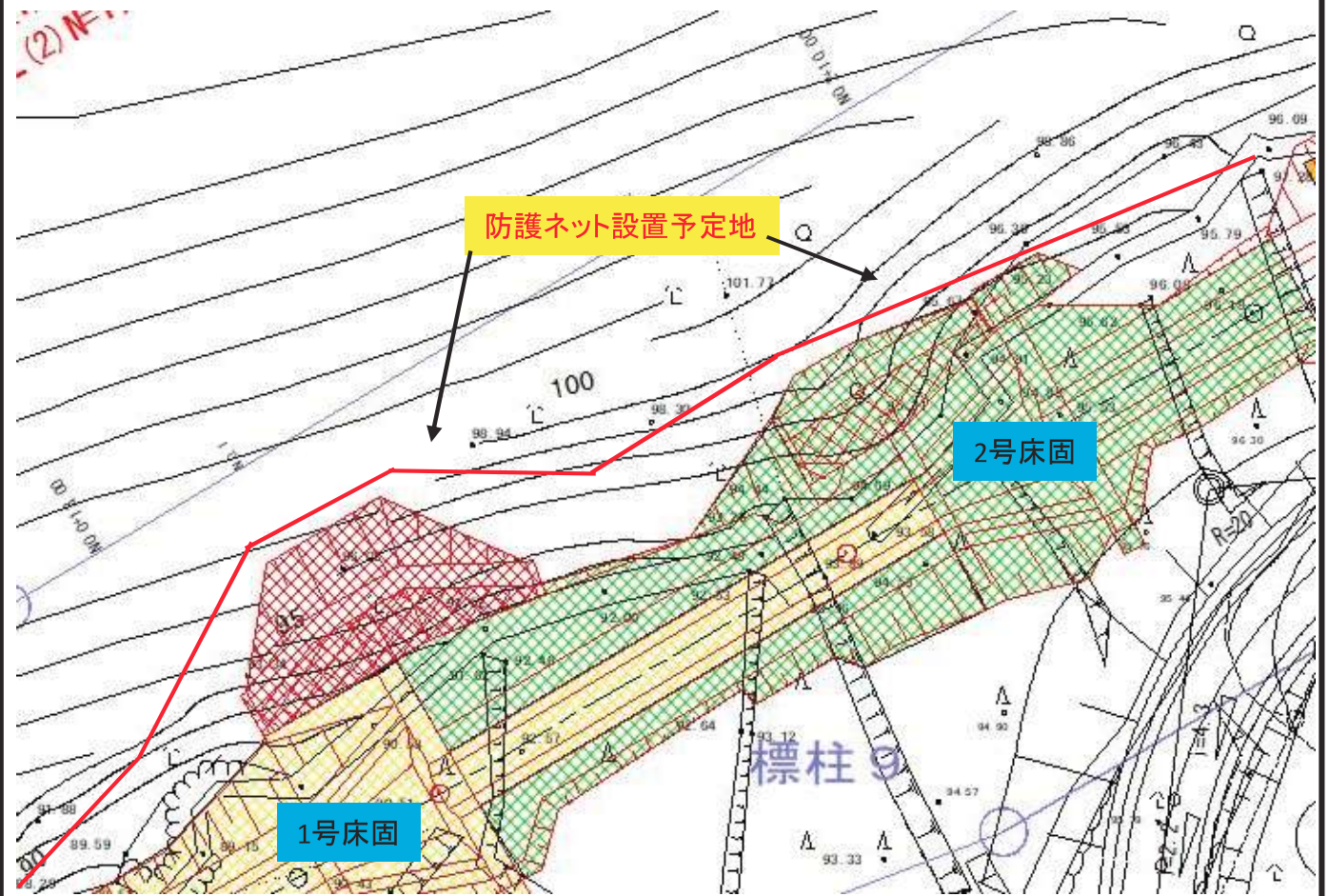
現場内安全巡視点検表

工 事 名	令和4年度 ●● 砂防工事 (溪流保全工)													安全責任者	担当者																	
	月 分																															
会 社 名																																
点 検 者 名																																
点 検 事 項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備 考
朝 礼 時	作業員の健康状態は良いか 作業員の保護具の着用は良いか 重機点検は良いか ストックヤードの整理整頓は良いか 工事看板の設置状況は良いか																															
始 業 時	バリケード設置状況 交通整理人配置状況 歩行者用通路設置状況 擁壁状況 作業員配置状況 重機、作業用車両の配置状況 工事看板の設置状況は良いか 法面上方の安全は良いか																															
午 前																																
終 業 時	仮設舗装の状態は良いか バリケード撤去状態は良いか ストックヤードの整理整頓は良いか ストックヤードの閉鎖状態は良いか 工事看板の設置状況は良いか 重機の格納状態は良いか																															
後																																

72277/記号 : 良好 : 不適合 : 該当なし

事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

[事故の状況が分かる写真または図面]



事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

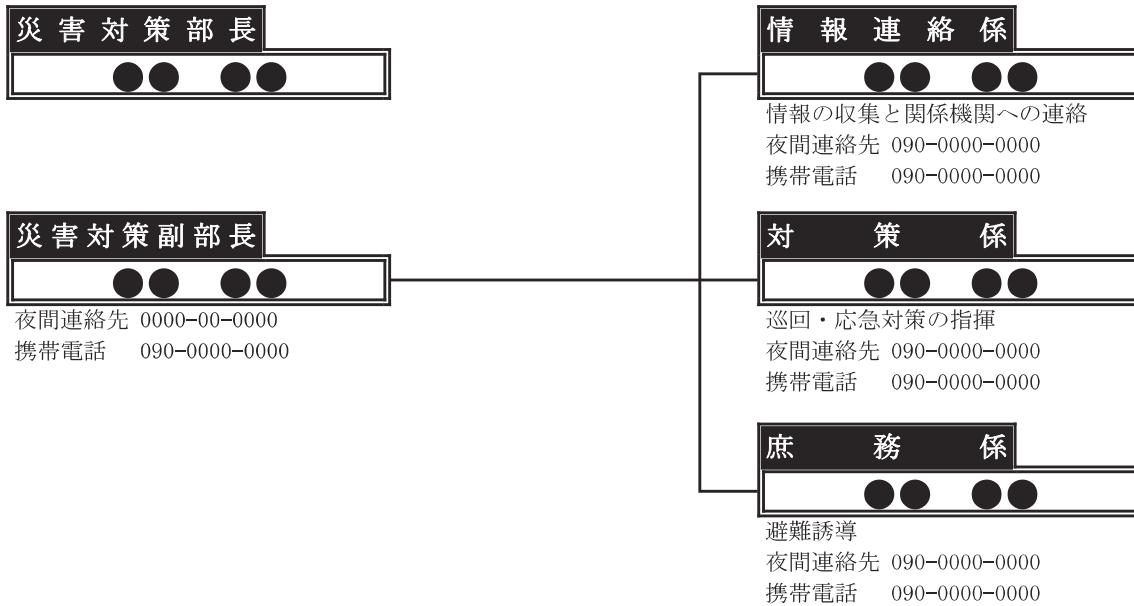
〔事故の状況が分かる写真または図面〕



注意報（大雨・洪水・大雪）及び警報（暴風雨・大雨・洪水・大雪）が静岡地方気象台から発令された時、下記の組織体制に入り、必要に応じ現場内をパトロールして警戒する。

又、作業現場において事故が発生又はその恐れがある場合、直ちに体制に入り現場代理人以下現場構成の各担当職務に応じて行動する。

1) 緊急時の社内体制



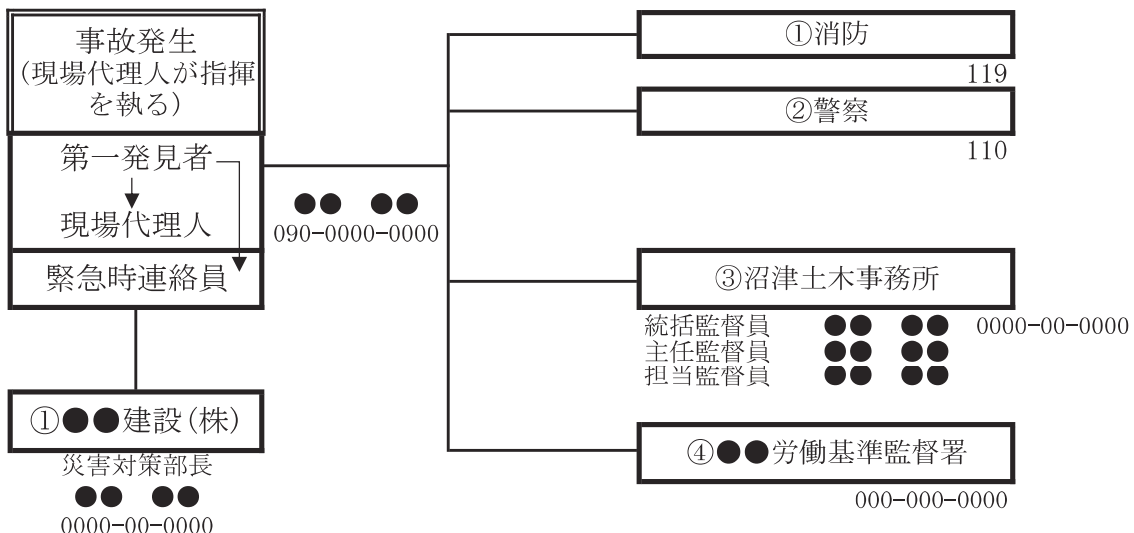
2) 緊急時の連絡系統図

作業現場内の事故発生時における連絡系統及び夜間又は休日における連絡方法は下記の通りとする。

毎朝、朝礼時に本社への緊急時連絡員を1名選出する。

事故発生時円滑な連絡が行えるよう現場代理人が指揮を執り、第1発見者及び、朝の朝礼で選出した緊急時連絡員1名と緊急連絡を行う。

緊急時に担当監督員と連絡が取れなかった場合、他の支所職員へ緊急事案が発生したことを伝える。また、連絡順位は下記番号とする。



安全訓練等の実施

月	実 施 内 容
7月	新規入場者教育の実施・本工事内容の周知徹底 社内安全パトロールの報告
8月	熱中症の事故防止対策・重機災害の事故防止対策（安全関係ビデオ視聴） 社内安全パトロールの報告
9月	熱中症の事故防止対策・重機災害の事故防止対策（安全関係ビデオ視聴） 社内安全パトロールの報告
10月	重機災害の事故防止対策（安全関係ビデオ視聴） 社内安全パトロールの報告 緊急時の連絡訓練の実施
11月	重機災害の事故防止対策（安全関係ビデオ視聴） 社内安全パトロールの報告 緊急時の連絡訓練の実施
12月	重機災害の事故防止対策（安全関係ビデオ視聴） 社内安全パトロールの報告 緊急時の連絡訓練の実施
1月	重機災害の事故防止対策（安全関係ビデオ視聴） 社内安全パトロールの報告 緊急時の連絡訓練の実施
2月	重機災害の事故防止対策（安全関係ビデオ視聴） 社内安全パトロールの報告 緊急時の連絡訓練の実施

尚、安全訓練の実施状況報告については、実施状況を写真に記録し、竣工時に訓練内容と共に完成書類に添付して提出する。

安全教育は、毎月4時間以上実施する。

災害・事故発生時において、被害に関する情報を警察、消防、病院、土木事務所、労働基準監督署へ迅速かつ的確に伝達できるよう、緊急時連絡訓練を適宜実施します。訓練は緊急時の連絡系統図に記載されている人物で行います。災害・事故発生から連絡順位に沿って連絡できるよう携帯電話を使用して訓練を行う。

（警察、消防、病院、土木事務所、労働基準監督署へは連絡訓練を行わない。）

[再発防止対策]

●安全協議会

社内安全委員会、各部責任者を招集し、事故を振り返り、原因の解明と再発防止策を検討
実施：令和4年10月19日（水）8：00～

安全協議会 実施状況写真

参加者名簿

	所属・役職
1	元請会社 代表取締役
2	元請会社 安全衛生管理者
3	元請会社 現場代理人
4	元請会社 作業員
5	下請会社 安全衛生管理者
6	下請会社 安全衛生管理者

1. 事故発生状況報告（現場代理人）
2. 事故発生の原因調査と再発防止策（安全衛生管理者）
 - 事故発生原因
 - 再発防止対策の検討
 - 危険予知活動の再検討
 - 今後の危険作業の確認
 - ハザードマップの再検討



- ・現場作業開始前に木や竹にかかっている、枯れ枝、枯れ竹の確認を行い撤去する。
また、法面に落ちていた枝、竹が滑り落ちてくる可能性があるため、
滑り落ちてきそうな枝、竹を除去する。
- ・作業開始前の点検表に頭上の危険物についての項目を追加する。
- ・緊急時の連絡が円滑に行えるように訓練を行う。
- ・現場内に頭上注意等の標識、看板を設置し周知を図る。